

羽 沢

令和元年 7月号
横浜市立羽沢小学校
学校長 田屋多恵子

(E) 笑顔いっぱい (S) 健やかいっぱい (D) 大好き羽沢の人とまち

羽沢小学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hazawa/>



夏休みを控えて

副校長 山之井 浩

梅雨時の不安定な天候がまだまだ続いておりますが、時折青空が見えた日などには、「夏近し」と思わせる暑さも感じられるようになりました。学校でも、水泳学習に子どもたちが嬉々として取り組む様子が見られています。

さて、夏休みも間もなくという時期となりましたが、この3ヶ月間で、入学式・1年生を迎える会・運動会・体力テスト等、子ども達が活躍する場面に出会ってきました。その中から、子どもたちの人なつっこさや素直さ、仲のよさ等を感じることができ、とてもうれしく思っています。

お互いの人間関係も徐々に円滑になってきている羽沢の子どもたちですが、この状態から、さらにコミュニケーションを深めていくために、次の2つが重要であると感じています。

その一つは、「挨拶」です。

朝の昇降口の様子を見ていると、新年度の4月当初より現在の方が挨拶をする児童が増えてきています。これから一日の生活が始まるに当たって、挨拶をすることはある意味「礼儀」でもありますし、気持ちよい生活を送るための基本となるものです。

ただ、現時点ではまだ、自分から挨拶をする姿より、人から挨拶をされてから返す姿が多く見られます。これが、自分から進んで、先に挨拶ができたり、相手の名を添えてから言葉を言うなどの工夫ができたりするようになると、さらにすばらしいと思います。

もう一つ、極めて大切なのは、話を「聴く」ことです。

例えば6月17日(月)に行われた「横浜夢座」による横浜大空襲を題材とした朗読劇。高学年の多くの子どもたちは、舞台を凝視し、聴くことができていました。

「聴」という字を分解すると、「耳」と「十」と「四」と「心」になります。「四」は90度回転させると「目」。「十」は、算数の記号のプラスです。

単に「聞こえる」のではなく、耳だけでなく「目」や「心」も使って、集中して受容的に「聴く」ことは、人と人とのコミュニケーションにおいて不可欠なものだと考えています

最後となりましたが、本校では、今年度二つの大きな工事が予定されています。一つは、災害などの非常時に設置される「はまっこトイレ」で、6月から校庭での工事が始まっています。もう一つは、体育館の内装等の工事で、こちらは7月から2月下旬まで行われます。(これに伴って、放課キッズクラブの活動場所は本校舎2階の多目的室となります。) どちらの工事も、安全面の確保に努めるとともに、子どもの学習活動を最優先することに配慮しておりますが、ご迷惑をお掛けすることもあろうかと思えます。

ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。